



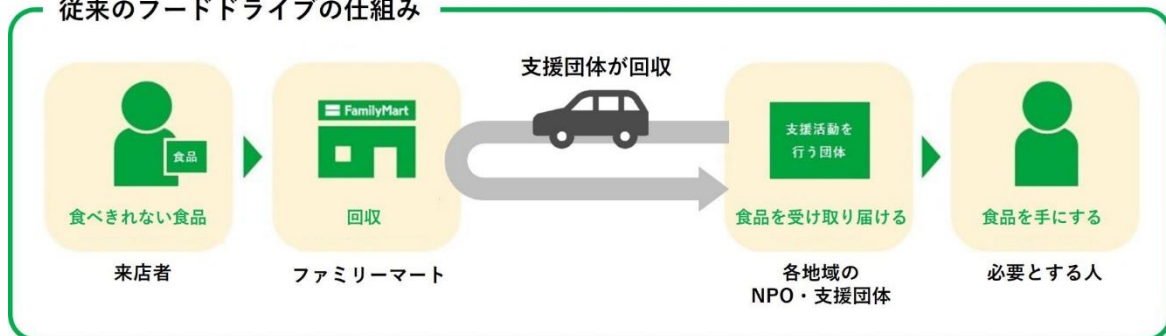
報道関係各位

株式会社ファミリーマート

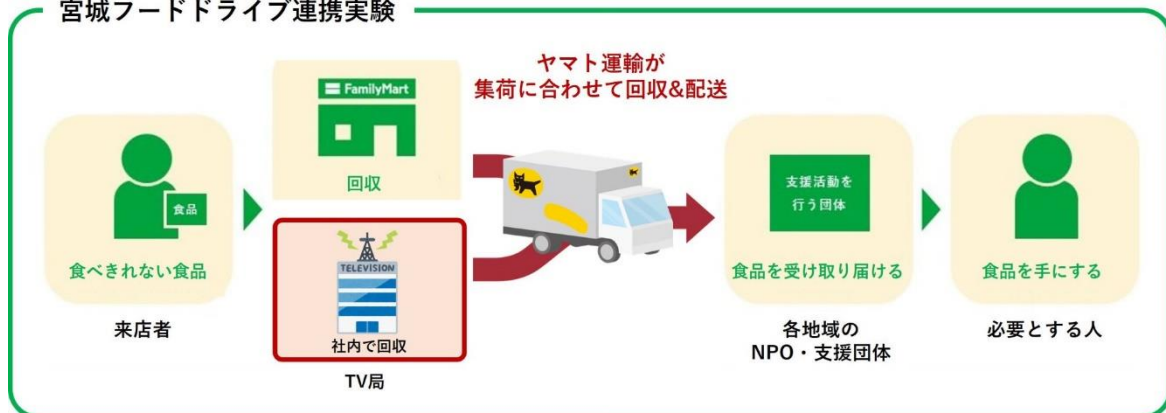
「宮城フードドライブ連携チャレンジ」を開始
ヤマト運輸が集荷に合わせて回収、TV 局での食品回収も開始
みんなの力で、食品をもっと素早く、もっと多くの人へ

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、2025 年 6 月 23 日（月）より、宮城県、ヤマト運輸新宮城主管支店、ふうどばんく東北 AGAIN などと連携し、地域における食支援と食品ロス削減への貢献として取り組むフードドライブにおける食品の集荷・輸送に関する実証実験を宮城県内のファミマフードドライブ実施店 17 店舗で開始いたします。本実証実験は、フードドライブにおける物流の課題解決を目指すもので、地域の食支援と食品ロス削減のさらなる強化を図ります。

従来のフードドライブの仕組み



宮城フードドライブ連携実験



■フードドライブ実証事業の実施に関する協定書調印式

2010年4月に宮城県と包括連携協定を締結して以来、ファミリーマートは宮城県の推進する様々な取り組みに協力してまいりました。今回の実証実験は、宮城県環境生活部循環型社会推進課からの提案を受け、フードドライブにおける輸送の効率化と運用負荷の軽減を目的としています。

本実証実験の開始に際し、2025年6月23日（月）に宮城県庁にて宮城県知事と「みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 県民会議」の参画団体より各代表者が集まり、調印式を執り行いました。

本実証実験の結果をもとに、2026年度以降の宮城県内での拡大実施も視野に入れています。これにより、より多くの地域でフードドライブが活性化し、食品ロス削減と地域社会への貢献がさらに進むことを期待しています。



参画団体の調印式の様子

■本実証実験の概要

◆回収場所

- ・ファミリーマート宮城県南部 17 店舗（白石市、蔵王町、角田市、丸森町、亘理町、山元町）
- ・東日本放送、宮城テレビ放送

◆配送方法

回収場所に寄付された食品を、ヤマト運輸のセールスドライバーが集荷
集荷した食品を、協力団体であるふうどばんく東北 AGAIN、亘理町社会福祉協議会へ配送

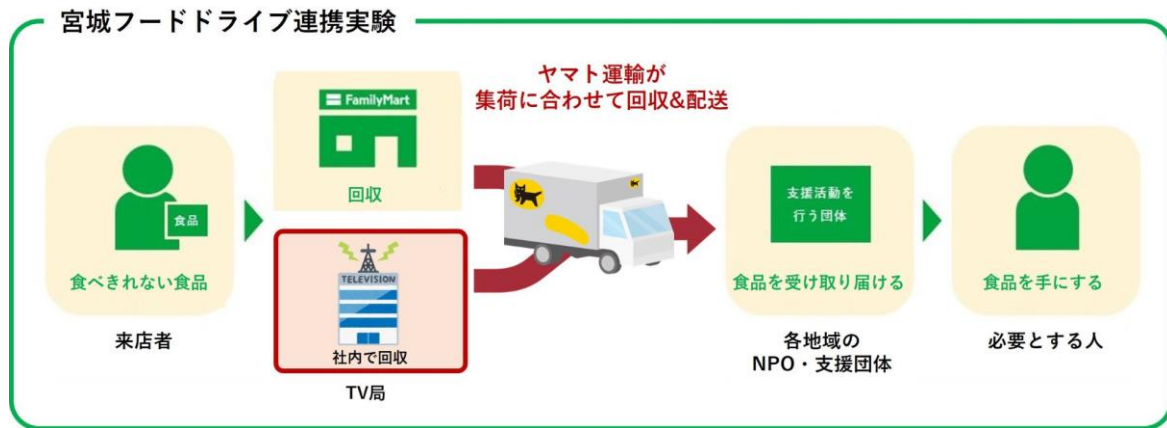
◆実験期間

2025年6月23日（月）～2026年2月末（予定）

◆参画団体

宮城県、ヤマト運輸新宮城主管支店、ふうどばんく東北 AGAIN、ファミリーマート、東日本放送、宮城テレビ放送、亘理町社会福祉協議会

◆実施スキーム



■「ファミマフードドライブ」とは

「ファミマフードドライブ」は、ご家庭にあるもったいない食品をファミリーマート店舗にお寄せいただき、地域のこども食堂やフードパントリーなどの活動を行う NPO や社会福祉協議会などの協力パートナーを通じて、食支援が必要な方々へお届けする取り組みです。ファミリーマート店舗を回収拠点とすることで、地域の皆さまが、いつでも気軽に社会貢献活動に参加できることが特徴です。

2025 年 5 月末現在、実施店舗は全国 4,531 店、協力パートナー数は 636 団体となり、国内最大級のネットワークを構築しています。

<ご参考>

コンビニ初！「ファミマフードドライブ」が、『気候変動アクション環境大臣表彰』で大賞を受賞！食支援と食品ロス削減が評価され、最高位を獲得

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2024/20241203_02.html

「ファミマフードドライブ」の受付可能な食品の条件や、取り組みの概要については、こちらからご覧いただけます。

<https://www.family.co.jp/sustainability/fooddrive.html>

「ファミマフードドライブ」全国 4000 店達成特設サイト

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/society/community/fooddrive/4000store.html?4000store

今後とも、さらなる食支援の輪を広げるためにファミマフードドライブの取り組みを拡大し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上